

名前 年 組

クマにドローンどう

今年も各地で出没が相次ぐクマへの対策として、ドローンの活用方法を探る検討会が、北秋田市の森吉山阿仁スキー場の駐車場で開かれた。県や市、北秋田署など関係機関から10人が参加。災害現場で活躍するドローンの飛行を実際に目



クマ対策へのドローン活用に向けて関係機関が参加した検討会

にし、痕跡や被害の確認、緊急時の態勢などにどう活用できるか意見を交わした。

災害時のドローン派遣や資格取得支援などを手がける一般社団法人DEFLUS（デ・フラス、吉川文隆代表理事）の主催。デ・フラスは災害現場でのドローンの活用と普及を進めている。今回、クマ対策への活用の可能性を探ろうと、個体探索などの現地調査を実施。その一環として検討会を開いた。

検討会では、吉川代表理事が高性能カメラや温度を感知する①を備えた機種と、物資輸送用の②、屋内など狭い場所

△秋田魁新報2025年6月17日付より。記事は手直ししています▽

でも使える③を紹介。

実際に操作して上空から撮影した映像を画面に映し、機体の特徴や性能を説明して「④から音声を

出し、警戒や避難を呼びかけられる。追い払いもできるかもしれない」と話した。

参加者による意見交換では、市街地への出沒対応に関して「現状では民家の上で飛ばすには法的制約があり、対応が難しい。農地の見回りなど普段の備えには有効」「実際の運用には、操縦できる人と機体の数がある程度必要。人材の育成と確保が課題ではないか」などの声が上がった。

※【痕跡】過去に何かがあったことを示す跡

※【主催】中心となつて会やイベントなどを開くこと

※【個体探索】動物などを探すこと

1 この記事の見出しの□に入る言葉を2字でぬき出しましょう。

2 記事の中の①～④の□の部分に当てはまる言葉を、それぞれ次のア～オから選び、記号を書きましょう。

ア スピーカー イ 大型機

ウ サーモセンサー エ 小型機 オ ライト

①

②

③

④

3 6年生の今田さんは、記事を読んで考えたことを次のようにまとめました。

㊦～㊩に入る言葉を語群から選び、番号を書きましょう。

秋田県内でもクマによる被害が相次ぎ、深刻な状況になっている中、新たなクマ対策としてドローンの活用が検討されました。法的な制約や(㊦)の育成などの(㊩)はあっても、ドローンの可能性を探りながら被害を(㊩)に防ぐことで、自然との共存がちゃんとできるようになっていけばいいなと思いました。

<語群> ①未然 ②人工 ③人材 ④問題 ⑤課題 ⑥機械 ⑦農作物